

2005年1月26日

報道関係各位

【参考資料・リリース抜粋版日本語訳】

ノバルティス2004年業績：売上高・利益ともに2桁成長、過去最高を更新
オンコロジーおよび循環器領域の革新的な製品群の好調により
市場シェアを拡大した医薬品事業が業績向上の牽引力に

バーゼル発、2005年1月20日

- 医薬品とコンシューマーヘルスが米ドルベースで2桁成長を達成し、グループ全体の売上高は前年比14%増（現地通貨ベース9%増）に
- 医薬品は引き続き市場シェアを拡大し、売上高は前年比15%増（現地通貨ベース10%増）を達成
- コンシューマーヘルスの売上高は、OTC、医療用栄養食品ならびにアニマルヘルスが市場シェアを拡大。好調だった2003年の影響を受けたサンド（ジェネリック事業）の低成長を補い、前年比10%増（現地通貨ベース5%増）に
- 健全な事業拡大により、営業利益は前年比11%増加
- 業績好調により、当期純利益は前年比15%増加
- 1株当たり当期純利益は、米ドルベースで16%増加。2004年の1株当たり配当金も増額し、1.05スイスフランを提案

主要数値
2004年（1～12月）

	2004年			2003年		前年比(%)	
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	米ドル ベース	現地通貨 ベース
売上高	28,247	30,507		24,864		14	9
医薬品	18,497	19,977		16,020		15	10
コンシューマーヘルス	9,750	10,530		8,844		10	5
営業利益	6,539	7,062	23.1	5,889	23.7	11	
当期純利益	5,767	6,228	20.4	5,016	20.2	15	
1株当たり当期純利益	米ドル	円		米ドル			
（ADS¹ベース）	2.36	255		2.03		16	
株主総会提案の	スイスフラン	円		スイスフラン			
1株当たり配当金	1.05	91		1.00		5	

¹ American Depositary Shares; 米国預託株式

- 特に記載のない場合、増減率はすべて米ドルベースの比較であり、説明はすべて2004年の年間業績に関するものです。
- 日本円は、便宜上1米ドル = 108円（2004年のおよその期中平均レート）で換算したものです。

2004年第4四半期（2004年10～12月の3カ月間）

	2004年第4四半期			2003年第4四半期		前年同期比(%)	
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	米ドル ベース	現地通貨 ベース
売上高	7,578	8,184		6,730		13	8
医薬品	4,969	5,367		4,379		13	9
コンシューマーヘルス	2,609	2,818		2,351		11	6
営業利益	1,534	1,657	20.2	1,606	23.9	-4	
当期純利益	1,378	1,488	18.2	1,360	20.2	1	
1株当たり当期純利益	米ドル	円		米ドル			
(ADSベース)	0.57	62		0.55		4	

ノバルティスの会長兼最高経営責任者ダニエル・バセラ（Dr. Daniel Vasella）は、2004年の年間業績について次のようにコメントしています。「患者さんに画期的な薬剤を提供するという、革新性にフォーカスした私たちの戦略と、社員の高い専門性と目標達成に向けたコミットメントによって、市場の伸びを上回る過去最高の業績を更新できたことをうれしく思います。特に医薬品事業は、オンコロジーと循環器領域の急成長を続ける革新的な製品群に牽引され、売上高・営業利益ともに2桁成長を達成し、世界的に市場シェアを拡大しました。また、研究開発の生産性を引き続き向上させた結果、業界で最も価値あるパイプラインを持つ会社の一つと評価されています。業界全体が非常に厳しい環境下にあるにもかかわらず、私たちの2005年の業績予想は引き続き堅調で、過去最高の売上高と好調な利益により、競争力ある業績を達成できると予測しています」

売上高

グループの売上高は14%増の282億米ドルに

売上高は、医薬品とコンシューマーヘルスの好調により、前年比14%増（現地通貨ベース9%増）の282億米ドルとなりました。コンシューマーヘルスは、OTCと医療用栄養食品がサンドのジェネリック事業の低成長を補いました。売上高を押し上げた主な要因は販売量の増加であり、前年比の増加率に対し8ポイントの寄与がありました。為替変動は5ポイント、事業買収は1ポイント、それぞれ売上増に影響がありました。グループ全体における値上げは、売上の伸びにほとんど影響を与えませんでした（1ポイント以下）。医薬品およびコンシューマーヘルスは、グループ全体の売上高のそれぞれ65%と35%を占めています。地域別には、米国がグループ全体の売上高の40%を占め、続いてヨーロッパが36%、その他の地域が24%となっています。

医薬品の売上高は15%増加し、185億米ドルに

医薬品の売上高は、「ディオバン」「グリベック」「ラミシール」「ゾメタ」と「ネオール」の5つの大型製品に牽引され、前年比15%増（現地通貨ベース10%増）となりました。プライマリーケア領域ならびにスペシャリティ領域ともに主力製品が卓越した伸びを示すとともに、主要マーケットにおいて市場平均を上回る成長を達成しました。ほぼすべての疾患領域において、米ドルベースで2桁の成長を達成しました。売上高の増加率に対し、販売量の増加は10ポイント、為替変動は5ポイントの影響がありました。価格変動による影響はほとんどありませんでした。

戦略領域（マチュア製品を除く医薬品）の売上高は、トップ10製品のうち7製品が2桁成長を達成した結果、前年比21%増（現地通貨ベース16%増）の154億米ドルとなりました。プライマリーケア製品（マチュア製品を除く）の売上高は、前年比21%増（現地通貨ベース17%増）でした。これは、アンジオテンシン受容体ブロッカー（ARB）で世界第1位、高血圧症治療薬で世界第2位であり、年間売上高が30億米ドルに達した高血圧症治療薬の「ディオバ

ン」、ならびに、米国No.1の高血圧症治療の合剤である「ロトレル」が引き続き成長している、循環器領域（21%増、現地通貨ベース17%増）の好業績に牽引されたものです。オンコロジー、移植・免疫、眼科で構成されるスペシャリティ領域の売上高は、前年比22%増（現地通貨ベース15%増）となり、医薬品売上高に占める割合は、前年の31%から33%に上昇しました。オンコロジーの売上高は、前年比28%増（現地通貨ベース22%増）を記録し、ノバルティスはオンコロジー領域で最も成長している会社の一つとなっています。主力製品の「グリベック」「ゾメタ」「フェマール」は、2004年に発表された患者さんにとってのベネフィットを示す新しい試験データに支えられ、力強い売上成長を実現しました。マチュア製品の売上高は、7%減（現地通貨ベース12%減）の31億米ドルとなりました。

非常に厳しい市場環境にもかかわらず、すべての地域において優れた業績を達成しました。地域別に見ると、米国の売上高は前年比12%の伸びを示しました。ヨーロッパは19%増（現地通貨ベース8%増）、日本は16%増（現地通貨ベース8%増）、ラテンアメリカは18%増（現地通貨ベース18%増）となりました。これらの地域の多くにおいて、売上高の伸びは現地の市場の伸びを上回りました。IMSヘルスによると、世界のヘルスケア市場における2004年1～11月のノバルティスのシェアは、前年同期の4.42%からさらに上昇し、4.5%となりました。同期間における全世界の医薬品市場の成長率は6.6%でした。

コンシューマーヘルスの売上高は10%増加し、98億米ドルに

2004年の売上高は、OTC、アニマルヘルスならびに医療用栄養食品の2桁成長（米ドルベース）が、ジェネリック事業のサンド、乳幼児用栄養食品およびチバビジョンの低成長を補った結果、前年比10%増（現地通貨ベース5%増）となりました。コンシューマーヘルス全体の売上増加率に対し、販売量の増加は2ポイント、為替変動は5ポイント、事業買収は3ポイントの寄与がありました。値上げの影響は、ほとんどありませんでした。ジェネリック事業のサンドの売上高は、比較ベースとなる2003年の売上高がAmoxCOの発売により好調だったことにより、5%増（現地通貨ベース1%減）の30億米ドルにとどまりました。2004年、ジェネリック事業は、特に米国とドイツにおいて価格競争が激化しました。OTCは、主要戦略ブランドの好業績により高い売上成長を達成。アニマルヘルスの売上高は、コンパニオンアニマル製品の2桁成長に支えられました。2004年2月のミードジョンソン社の買収完了により、医療用栄養食品の売上高は、特にシャープな伸びを示しました。乳幼児用栄養食品の売上高は、市場の成長を上回るペースで伸長しました。チバビジョンの売上高は、コンタクトレンズブランドの「デイリーズ®」ならびに「ナイト&デイ™」の伸長により、増加しました。

営業利益

2004年（1～12月）

	2004年			2003年		前年比(%)
	百万米ドル	億円	売上高比(%)	百万米ドル	売上高比(%)	米ドルベース
医薬品	5,253	5,673	28.4	4,423	27.6	19
コンシューマーヘルス	1,181	1,275	12.1	1,320	14.9	-11
法人収益/費用（純額）	105	113		146		-28
営業利益 計	6,539	7,062	23.1	5,889	23.7	11

2004年第4四半期（2004年10～12月の3カ月間）

	2004年第4四半期			2003年第4四半期		前年同期比(%)
	百万米ドル	億円	売上高比(%)	百万米ドル	売上高比(%)	米ドルベース
医薬品	1,251	1,351	25.2	1,174	26.8	7
コンシューマーヘルス	184	199	7.1	330	14.0	-44
法人収益/費用（純額）	99	107		102		-3
営業利益 計	1,534	1,657	20.2	1,606	23.9	-4

グループの営業利益は前年比11%増の65億米ドルに

2004年の営業利益は、主力医薬品の販売量の堅調な伸びに支えられ、11%増となりました。部門経費のほぼすべての項目が、営業利益率にプラスの影響を及ぼしました。売上原価は12%増加しましたが、医薬品事業の効率向上とプロダクト・ミックスの改善により、売上高に対する比率は0.2ポイント改善し、23.5%となりました。販売・マーケティング費も、主にセールスフォースの生産性向上により、売上高比が0.2ポイント低下し、31.4%となりました。研究開発費は12%増の42億米ドルとなりましたが、開発費の先行投資が減少したことにより、売上高に対する比率は0.2ポイント減少し、14.9%となりました。一般管理費も売上高の伸びを下回り、売上高に対する比率は5.5%となりました。しかしながら、グループ全体の営業利益率は、昨年の23.7%から0.6ポイント低下し、23.1%となりました。これは主に、サンド、医療用栄養食品、アニマルヘルスにおける一時的な費用発生により、その他費用が増加したためです。

医薬品の営業利益は19%増の53億米ドルに

医薬品の営業利益は、売上高の伸びをはるかに上回る19%の増加を示し、53億米ドルとなりました。この結果、営業利益率も前年の27.6%から0.8ポイント上昇し、28.4%となりました。売上原価率が、生産性向上とプロダクト・ミックスの改善により0.8ポイント改善したことが、営業利益率の拡大に大きく貢献しました。売上高に対する販売・マーケティング費の比率は、特に米国でのセールスフォースの生産性改善が寄与し、0.2ポイント減の33.0%となりました。研究開発費は、ノバルティス バイオメディカル研究所 (NIBR) ならびに開発後期にある開発品への投資により、前年比13%の増加となりました。しかしながら、売上高に対する研究開発費の比率は、開発費の先行投資が2003年に比べ減少したため、前年比で0.4ポイント減少し、18.8%となりました。その他の営業費用は、前年比56%増となりました。要因の一つは、Fioricet/Fiorina製品ラインの売却により1億7,800万米ドルの一時的な収入があった2003年に比べ、今年は利益ヘッジおよび製品売却による収入が1億7,100万米ドル減少したことです。売上高に対する一般管理費の比率は、前年の3.6%から3.5%に低下しました。

コンシューマーヘルスの営業利益は11%減少し、12億米ドルに

OTC、アニマルヘルス、およびチバビジョンが力強い業績成長を実現したものの、営業利益は前年比11%減の12億米ドルとなりました。これは、サンドの事業再構築に関わる費用と、それに伴う有形固定資産の減損による3,700万米ドル、アニマルヘルスにおける1,800万米ドルの棚卸資産評価減、1,400万米ドルのミード・ジョンソン社の買収関連費用、さらに、医療用栄養食品における米国経腸ポンプ市場での米司法省による調査に対する法的責任をカバーするための5,100万米ドルの引当金計上などを含む、合計1億2,000万米ドルの一時的費用の計上によるものです。医療用栄養食品に関する米司法省による調査については、現在ノバルティス ニュートリション・コーポレーションが、和解の可能性に向けて交渉中です。これらの一時的項目を除くと、コンシューマーヘルスの営業利益は、前年比1%減の13億米ドル、営業利益率は前年の14.9%に比べ13.3%となります。

グループの当期純利益は15%増の58億米ドルに

2004年の当期純利益は、前年の50億米ドルから15%増加し、58億米ドルとなりました。売上高に対する当期純利益の比率は、営業利益の大幅な改善により、前年の20.2%から20.4%に上昇しました。

グループの今後の見通し（不測の事態を除外）

ノバルティスは、2005年もさらに市場シェアを拡大し、最も高い成長を遂げる医薬品企業の一つであり続けると予測しています。その結果、グループ全体および医薬品事業で1桁台後半（現地通貨ベース）の売上成長を達成すると予想しています。

2005年においてノバルティスは、株式ベースの報酬を費用に計上する予定です。不測の事態がなければ、ノバルティス グループの営業利益および当期純利益は、比較ベースで過去最高を更新する見込みです。

医薬品事業ならびに主要製品のハイライト

プライマリーケア

「ディオバン」(前年比28%増、現地通貨ベース22%増、米国20%増)が米国をはじめとする世界各国で引き続き力強い売上成長を記録。売上高は30億米ドルを超え、アンジオテンシン受容体ブロッカー(ARB)の世界的リーダーで、最も急速に成長している高血圧症治療薬としての地位をさらに強固にしました。「ディオバン」は米国の広大な高血圧症治療薬市場において2.6%のシェアを占め、今後も最もダイナミックな成長を遂げる市場の一つであり続けると予測されるARB領域では38.5%の市場シェアを獲得しました(2004年12月現在のIMSヘルスのデータ)。「ディオバン」の売上拡大は、大規模臨床試験の優れた結果や、世界各国での高用量製剤の市場投入、さらに最近米国で開始した高血圧症に関する認知を高めるためのプログラムなどが主な要因となりました。ノバルティスは最近、「ディオバン」のハイリスク心筋梗塞患者治療の適応症について、米国食品医薬品局(FDA)から承認勧告通知を受け取りました。この適応症は、すでにイギリスを含む世界27カ国で承認されていますが、米国での承認には、FDAとのさらなる検討が必要とされます。

米国でNo.1の地位を確立した高血圧症治療の配合剤「ロトレル」(米国で18%増)は、米国で高血圧症治療薬の効果に対する関心が高まる中、2桁の売上成長を実現しました。「ロトレル」は、2002年以来維持している配合剤No.1ブランドとしての位置づけをさらに向上させました。これは、政府のガイドラインに定められた従来よりも低い目標血圧値に到達することの必要性を、より多くの患者さんが認識するようになったことが要因です。「ロトレル」は米国のみで販売されており、米国で開始した高血圧症の認知向上プログラムにも後押しされました。

爪白癬治療の世界トップブランド「ラミシール」(19%増、現地通貨ベース14%増、米国23%増)は、米国でトップの同領域での市場シェアが過去最高の72%(2004年11月現在のIMSヘルスのデータ)を記録し、売上高は初めて10億米ドルを超えました。米国およびヨーロッパ主要国での疾患認知度向上が成長の牽引力となりました。

アトピー性皮膚炎の医療用ブランド薬で世界No.1の「エリデル」(49%増、現地通貨ベース47%増、米国36%増)は、市場成長を上回る売上の伸びを達成しました(2004年10月現在、IMSトップ16カ国で「エリデル」54%増に対し、市場は7.8%増)。2004年、影響力のあるイギリス国立臨床研究所(NICE; National Institute for Clinical Excellence)は、アトピー性皮膚炎の患者さんに対する「エリデル」の使用を推奨しました。「エリデル」は、すでに世界約90カ国で販売されています。

「ゼルノーム/ゼルマック」(81%増、現地通貨ベース80%増、米国89%増)は、便秘型過敏性腸症候群(IBS)の画期的治療薬であり、かつ慢性特発性便秘を治療する初めてかつ唯一の医療用医薬品です。これらの疾患に対する効果的な治療薬の存在についての患者さんや医師の認知度が向上したことが、成長の主要な牽引力となり、売上高は2億9,900万米ドルに達しました。2004年に発表されたZENSAA試験の結果では、同剤はIBSの女性患者の反復投与による治療に非常に有効であり、さらに、生活の質(QOL)の観点からも大幅な改善が見られました。2004年10月にEUに行った再申請は、この試験の結果に基づいて行われ、2005年に結論が出る見込みです。米国食品医薬品局(FDA)は2004年8月、65歳未満の男性および女性における慢性特発性便秘の追加効能を承認しました。

スペシャリティ領域

オンコロジー

フィラデルフィア染色体陽性(Ph+)の慢性骨髄性白血病(CML)のあらゆる病期とある種の消化管間質腫瘍(GIST)の治療薬「グリベック」(45%増、現地通貨ベース36%増、米国23%増)は、CMLとGISTの両市場でのさらなる浸透と平均一日用量の増加により、引き

続きダイナミックな成長を遂げました。昨年12月の米国血液学会（ASH）において発表された新たなデータでは、1日あたり400mgの「グリベック」の投与により治療を受けている、フィラデルフィア染色体陽性のCML初発患者の大部分において、長期にわたる効果の持続が確認されました。もう一つの試験では、1日用量800mgで治療を受けた患者さんは、1日用量400mgによる治療を受けた患者さんに比べ、より高い効果を得られたことが示されました。さらに、フィラデルフィア陽性の急性リンパ性白血病（ALL）やglioblastoma multiforme（GBM）の治療に対する「グリベック」の有望なデータが、昨年12月の第4四半期に主要な医学学会において発表されました。「グリベック国際患者支援プログラム」は、現在71カ国で展開されており、このプログラムがなければこの画期的治療薬を手にすることが困難な、世界で10,000人以上の患者さんに「グリベック」が提供されています。

悪性腫瘍の骨転移治療に最も多く使われているビスホスホネート注射剤の「ゾメタ」（21%増、現地通貨ベース17%増、米国10%増）は、米国におけるメディケアの償還方針や競争激化、さらに、乳がんや多発性骨髄腫の治療においてすでに高い浸透率を達成しているという厳しい環境にもかかわらず、引き続き堅調な伸びを示した結果、2004年にブロックバスター（年間売上高10億米ドル以上の製品）の仲間入りを果しました。「ゾメタ」は、世界的に最も多いがんとされている前立腺がんと肺がんの患者さんの治療に、ビスホスホネート注射剤をこれまで以上に使うということにおいて進展を見せています。

閉経後の早期乳がんおよび進行性乳がん治療の第一選択薬「フェマーラ」（70%増、現地通貨ベース62%増、米国137%増）は、2桁台後半の高い成長率を示しました。「フェマーラ」は、タモキシフェンによる標準アジュバント療法終了後の早期乳がん患者に対する新たな適応症が取れている唯一の治療薬で、この適応症は米国を含む20カ国で承認を取得しています。これは、画期的なMA-17試験の結果に基づくもので、この試験では、5年間のタモキシフェンによる術後アジュバント療法後の患者さんの再発リスクを有意に減少させることが証明されました。さらに、乳がん手術後の5年間における「フェマーラ」とタモキシフェンの効果を比較するBIG 1-98試験の重要な新データが、2005年1月26日にスイスのザンクトガレンで開催されるPrimary Therapy of Early Breast Cancer conference（早期乳がんのプライマリーセラピー会議）で発表される予定です。

眼科

先進国における50歳以上の失明原因の第1位を占める滲出型加齢黄斑変性（AMD）治療の世界トップ製品「ピスタイン」（25%増、現地通貨ベース20%増、米国15%増）が引き続き好業績を達成した結果、眼科事業部の売上高は、前年比25%増（現地通貨ベース19%増）となりました。米国では、新たな病変タイプにもメディケア償還の対象範囲が広がったことが成長を後押しし、ヨーロッパでも好調を維持しました。

移植

「ネオラル」と「サンディミュン」の売上高は、米国の肝移植領域で市場シェアが拡大したほか、米国および他の主要市場における後発品の侵食が比較的緩やかでしたが、全世界的に横ばい（1%減、現地通貨ベース7%減、米国17%減）となり、移植事業部の売上高は前年比1%増（現地通貨ベース5%減）となりました。腎移植で使われる免疫抑制剤のMyforticは、米国を含む40カ国以上で発売され、引き続き市場シェアを拡大しました。また、画期的な細胞増殖シグナル阻害剤「サーティカン」は、EU新規加盟候補国10カ国において相互承認方式による審査を受ける一方、オーストラリアで承認されました。また昨年、ウィーンで行われた国際移植学会において、ノバルティスは移植医療への貢献20周年を祝いました。

コーポレート

法人収益/費用（純額）

2004年の法人収益の純額は、主に年金収益の減少により、前年の1億4,600万米ドルに対し、

1億500万米ドルとなりました。

金融収益（純額）

継続する低金利にもかかわらず、金融収益の純額は前年の3億7,900万米ドルに対し、2億2,700万米ドルとなりました。流動資産の純額に対するリターンは、前年の5.2%に対し3.4%となりました。

関連会社からの利益

関連会社からの利益は、昨年2億米ドルの損失から1億4,200万米ドルの収入に増加しました。ノバルティス グループが42.5%（2004年12月31日現在）の株式を保有するカイロン社からの税引き前利益への貢献は、昨年の1億3,400万米ドルから3,300万米ドルに減少しました。これは、イギリスにあるカイロン社の生産拠点が製造停止処分を受け、2004/2005年のインフルエンザの流行期に米国へのインフルエンザワクチンの供給が滞ったことによります。また、ノバルティスはロシュ社の議決権の3分の1弱を保有しており、これはロシュ社の資本の6.3%に相当します。ロシュ社への投資に伴う税引き前利益への影響は、2003年は3億5,400万米ドルの損失でしたが、2004年はロシュ社業績の顕著な改善により9,700万米ドルの収入となりました。2004年の税引き前収益は、ロシュ社の2004年税引き前利益の当社持分の見積もり額3億9,900万米ドル（前年からの3,000万米ドルのプラスの調整額を含む）の貢献があった一方、無形資産や営業権、有形固定資産の取得価格の配分から生じる営業権および無形資産の償却による3億200万米ドルの費用により相殺されました。2004年のロシュ社およびカイロン社からの税引き前利益の見積り額と実際の結果との差異は、2005年において調整されます。

強固なバランスシート

ノバルティスの社債は、引き続きスタンダード&プアーズとムーディーズにより、それぞれ長期債は最高の「AAA」および「Aaa」、短期債については「A1+」および「P1」に格付けされています。ノバルティスは、金融機関を除き、これら2つの格付け機関から最上位の格付けを得ている世界でも数少ない企業の一つとなっています。

固定資産の総額は、Sabex社ならびにミード・ジョンソン社の成人向け医療用栄養食品事業の買収、および為替の影響が主な要因となり、前年末から28億米ドル増加しました。グループの資本は、34億米ドル増えて338億米ドル（2004年12月31日現在）となりました。これは、当期純利益（58億米ドル）、外貨換算調整の好影響（11億米ドル）、市場性有価証券の評価差益、キャッシュフロー・ヘッジおよび他の要因（4億米ドル）などが、自己株式取得（19億米ドル）ならびに支払い配当金（20億米ドル）によって相殺されたことによります。有利子負債の総額は、前年末から9億米ドル増加しました。売却可能な市場性有価証券や繰延キャッシュフロー・ヘッジの評価差益が増加し、2004年12月31日現在の含み益は、前年末の8,100万米ドルから、3億7,700万米ドルに増加しました。2004年末の負債比率は、2003年末と同レベルの0.20:1となりました。

2004年8月、ノバルティスは第3次の自己株式取得プログラムの完了と、スイス証券取引所のセカンド・トレーディング・ラインを介して第4次の自己株式取得プログラムを開始したことを発表しました。第3次の自己株式取得プログラム完了に際し、2004年に2,280万株の自己株式を10億米ドルで買い戻しました。さらに、第4次プログラムの開始以降、1,520万株の自己株式を8億米ドルで取得しました。これにより、2004年合計では、4,100万株の自己株式を19億米ドルで取得したことになります。ノバルティスの取締役会は、2005年3月1日に開催される年次株主総会で、セカンド・トレーディング・ラインの自己株式取得プログラムを通じて取得した株式の償却の承認を、株主の皆様にご提案する予定です。

キャッシュフロー

営業活動からのキャッシュフローは、前年から7,300万米ドル（1%）増加し、67億米ドルとなりました。減価償却費、無形固定資産償却、減損は14億米ドルで、2003年レベルを維持し

ましたが、税金支払額は前年に比べ2億4,100万米ドル増加しました。

配当金

取締役会は、2005年3月1日に開催される年次株主総会において、1株あたり配当金を2003年の1.00スイスフランから1.05スイスフランに増配することを提案します。これは、米ドルベースで16%の増配（2004年および2003年末時点の米ドル/スイスフランの為替レートにより換算）であり、1996年12月にノバルティスが合併して以来、8年連続の増配となります。2004年の配当金に関する提案が株主の皆様へ承認されれば、発行済み株式に対して支払われる配当金は、2003年の20億米ドルに対し、2004年は約22億米ドルとなります。グループの当期純利益に対する配当性向は、2003年と同じく39%となります。2004年末の株価57.30スイスフランに基づく配当利回りは1.8%で、2003年と同レベルです。2004年の配当金支払期日は、2005年3月4日と設定されました。2億9,100万株の自己株式を除いたすべての発行済み株式に対して、配当金が支払われます。

免責条項

本リリースには、現時点における将来の予想と期待が含まれています。従って、その内容に関して、また、将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる場合があることをご了解下さい。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照下さい。

ノバルティスについて

ノバルティスは、医薬品とコンシューマーヘルスにおける世界的リーダーです。ノバルティスグループ全体の2004年の売上高は282億米ドル（約3兆507億円）で、当期純利益は58億米ドル（約6,228億円）、研究開発費は42億米ドル（約4,544億円）でした。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約81,400人の社員を擁しており、世界140カ国以上で製品が販売されています。詳細はインターネットをご覧ください。www.novartis.com

今後の報告予定

2005年3月1日	年次株主総会
2005年4月21日	第1四半期業績発表
2005年7月14日	上半期ならびに第2四半期業績発表
2005年10月18日	1～9月期ならびに第3四半期業績発表

本リリースは、英語版オリジナルの抜粋版日本語訳です。連結貸借対照表、連結キャッシュフロー計算書、注記などは省略しています。これらの内容は英語版オリジナルをご参照下さい。

http://www.novartis.com/downloads/FINANCE_FRESCO_2004_ENGLISH_FINAL.pdf

連結損益計算書

2004年(1~12月)

	2004年		2003年	前年比	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	%
売上高	28,247	30,507	24,864	3,383	14
売上原価	-6,625	-7,155	-5,894	-731	12
粗利益	21,622	23,352	18,970	2,652	14
販売・マーケティング費	-8,873	-9,583	-7,854	-1,019	13
研究開発費	-4,207	-4,544	-3,756	-451	12
一般管理費	-1,540	-1,663	-1,381	-159	12
その他収益/費用	-463	-500	-90	-373	
営業利益	6,539	7,062	5,889	650	11
関連会社からの利益	142	153	-200	342	
金融収益(純額)	227	245	379	-152	-40
税引き前利益および少数株主利益	6,908	7,461	6,068	840	14
税金	-1,126	-1,216	-1,008	-118	12
少数株主利益	-15	-16	-44	29	-66
当期純利益	5,767	6,228	5,016	751	15
平均発行済み株式数(百万株)	2,448.0		2,473.5		
1株当たり当期純利益(米ドル)	2.36	255	2.03	0.33	16
希薄化後1株当たり当期純利益(米ドル)	2.34	253	2.00	0.34	17

2004年第4四半期(2004年10~12月の3カ月間)(監査対象外)

	2004年第4四半期		2003年第4四半期	前年同期比	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	%
売上高	7,578	8,184	6,730	848	13
売上原価	-1,882	-2,033	-1,608	-274	17
粗利益	5,696	6,152	5,122	574	11
販売・マーケティング費	-2,500	-2,700	-2,176	-324	15
研究開発費	-1,234	-1,333	-1,092	-142	13
一般管理費	-452	-488	-403	-49	12
その他収益/費用	24	26	155	-131	-85
営業利益	1,534	1,657	1,606	-72	-4
関連会社からの利益	5	5	12	-7	-58
金融収益(純額)	66	71	-16	82	
税引き前利益および少数株主利益	1,605	1,733	1,602	3	
税金	-224	-242	-248	24	-10
少数株主利益	-3	-3	6	-9	
当期純利益	1,378	1,488	1,360	18	1
平均発行済み株式数(百万株)	2,428.9		2,472.3		
1株当たり当期純利益(米ドル)	0.57	62円	0.55	0.02	4
希薄化後1株当たり当期純利益(米ドル)	0.56	60円	0.55	0.01	2

事業部門別売上高

2004年（1～12月）

	2004年		2003年	前年比(%)	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	米ドル ベース	現地通貨 ベース
医薬品	18,497	19,977	16,020	15	10
コンシューマーヘルス	9,750	10,530	8,844	10	5
サンド（ジェネリック事業）	3,045	3,289	2,906	5	-1
一般用医薬品（OTC）	1,975	2,133	1,772	11	5
アニマルヘルス	756	816	682	11	5
医療用栄養食品	1,121	1,211	815	38	31
乳幼児用栄養食品	1,441	1,556	1,361	6	6
チバビジョン	1,412	1,525	1,308	8	2
売上高 計	28,247	30,507	24,864	14	9

2004年第4四半期（2004年10～12月の3カ月間）（監査対象外）

	2004年第4四半期		2003年第4四半期	前年同期比(%)	
	百万米ドル	億円	百万米ドル	米ドル ベース	現地通貨 ベース
医薬品	4,969	5,367	4,379	13	9
コンシューマーヘルス	2,609	2,818	2,351	11	6
サンド（ジェネリック事業）	867	936	768	13	7
一般用医薬品（OTC）	532	575	499	7	1
アニマルヘルス	209	226	180	16	12
医療用栄養食品	285	308	208	37	31
乳幼児用栄養食品	354	382	348	2	2
チバビジョン	362	391	348	4	0
売上高 計	7,578	8,184	6,730	13	8

事業部門別営業利益

2004年（1～12月）

	2004年			2003年		前年比 (%)
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	
医薬品	5,253	5,673	28.4	4,423	27.6	19
コンシューマーヘルス	1,181	1,275	12.1	1,320	14.9	-11
サンド（ジェネリック事業）	235	254	7.7	473	16.3	-50
一般用医薬品（OTC）	351	379	17.8	309	17.4	14
アニマルヘルス	78	84	10.3	88	12.9	-11
医療用栄養食品	32	35	2.9	82	10.1	-61
乳幼児用栄養食品	274	296	19.0	254	18.7	8
チバビジョン	236	255	16.7	153	11.7	54
部門管理費	-25	-27		-39		-36
法人収益/費用（純額）	105	113		146		-28
営業利益 計	6,539	7,062	23.1	5,889	23.7	11

2004年第4四半期（2004年10～12月の3カ月間）（監査対象外）

	2004年第4四半期			2003年第4四半期		前年同期比 (%)
	百万米ドル	億円	売上高 比(%)	百万米ドル	売上高 比(%)	
医薬品	1,251	1,351	25.2	1,174	26.8	7
コンシューマーヘルス	184	199	7.1	330	14.0	-44
サンド（ジェネリック事業）	22	24	2.5	122	15.9	-82
一般用医薬品（OTC）	58	63	10.9	93	18.6	-38
アニマルヘルス	36	39	17.2	27	15.0	33
医療用栄養食品	-39	-42	-13.7	28	13.5	-239
乳幼児用栄養食品	68	73	19.2	66	19.0	3
チバビジョン	51	55	14.1	16	4.6	219
部門管理費	-12	-13		-22		-45
法人収益/費用（純額）	99	107		102		-3
売上高 計	1,534	1,657	20.2	1,606	23.9	-4

補足資料：2004年（1～12月）の売上上位20医薬品の売上高（監査対象外）

製品名	適応症	米国			米国以外			合計			
		百万米ドル	億円	前年比 現地通貨 ベース(%)	百万米ドル	億円	前年比 現地通貨 ベース(%)	百万米ドル	億円	米ドル 前年同期比 ベース(%)	現地通貨 前年同期比 ベース(%)
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1,323	1,429	20	1,770	1,912	25	3,093	3,340	28	22
グリベック	慢性骨髄性白血病	368	397	23	1,266	1,367	41	1,634	1,765	45	36
ラミシール(グループ)	真菌症	528	570	23	634	685	7	1,162	1,255	19	14
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	630	680	10	448	484	29	1,078	1,164	21	17
ネオーラル/サンディミュン	移植	180	194	-17	831	897	-4	1,011	1,092	-1	-7
ロトレル	高血圧症	920	994	18	0	0	0	920	994	18	18
サンドスタチン(グループ)	先端巨大症	374	404	18	453	489	11	827	893	19	14
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	284	307	-8	474	512	3	758	819	3	-2
ポルタレン(グループ)	炎症/疼痛	9	10	13	629	679	1	638	689	7	1
トリレプタール	てんかん	391	422	28	127	137	30	518	559	30	29
トップ10製品 計		5,007	5,408	15	6,632	7,163	16	11,639	12,570	21	16
ビスタイン	加齢黄斑変性	209	226	15	239	258	25	448	484	25	20
エクセロン	アルツハイマー病	179	193	-1	243	262	20	422	456	15	10
テグレトール(CT/XR錠含む)	てんかん	103	111	-16	293	316	5	396	428	3	-2
フェマーラ	乳がん	166	179	137	220	238	29	386	417	70	62
ミアカルシック	骨粗しょう症	236	255	-1	141	152	-13	377	407	-3	-6
エリデル	アトピー性皮膚炎	279	301	36	70	76	123	349	377	49	47
フォラジール	ぜんそく	13	14	44	308	333	1	321	347	11	2
レボネックス/クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	72	78	-16	236	255	-3	308	333	0	-7
ゼルマック/ゼルノーム	過敏性腸症候群	249	269	89	50	54	45	299	323	81	80
ファムビル	抗ウィルス	160	173	10	95	103	0	255	275	9	6
トップ20製品 計		6,673	7,207	17	8,527	9,209	15	15,200	16,416	21	16
その他製品		695	751	-20	2,602	2,810	-5	3,297	3,561	-4	-9
医薬品売上高 計		7,368	7,957	12	11,129	12,019	9	18,497	19,977	15	10

補足資料：2004年第4四半期(2004年10～12月)の売上上位20医薬品の売上高（監査対象外）

製品名	適応症	米国			米国以外			合計			
		百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	百万米ドル	億円	前年同期比	
				現地通貨			現地通貨			米ドル	現地通貨
				ベース (%)			ベース (%)			ベース (%)	ベース (%)
ディオバン/コディオバン	高血圧症	314	339	17	502	542	19	816	881	22	18
グリベック	慢性骨髄性白血病	100	108	22	366	395	36	466	503	40	33
ラミシール(グループ)	真菌症	125	135	13	176	190	6	301	325	12	8
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	167	180	13	123	133	24	290	313	21	17
ネオオーラル/サンディミュン	移植	45	49	-18	224	242	-6	269	291	-3	-8
ロトレル	高血圧症	259	280	41	0	0	0	259	280	41	41
サンドスタチン(グループ)	先端巨大症	107	116	24	118	127	12	225	243	22	17
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	77	83	-19	129	139	3	206	222	-3	-7
ボルタレン(グループ)	炎症/疼痛	2	2	0	178	192	4	180	194	10	6
トリレプタール	てんかん	106	114	22	36	39	28	142	153	26	23
トップ10製品 計		1,302	1,406	17	1,852	2,001	14	3,154	3,406	19	15
ビスタイン	加齢黄斑変性	55	59	17	69	75	32	124	134	29	24
エクセロン	アルツハイマー病	44	48	2	65	70	13	109	118	14	8
テグレトール(CT/XR錠含む)	てんかん	28	30	-26	85	92	5	113	122	0	-4
フェマーラ	乳がん	51	55	183	64	69	30	115	124	83	74
ミアカルシック	骨粗しょう症	54	58	2	38	41	-15	92	99	-2	-5
エリデル	アトピー性皮膚炎	74	80	25	19	21	62	93	100	33	31
フォラジール	ぜんそく	4	4	100	83	90	-3	87	94	10	0
レボネックス/クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	18	19	-18	56	60	-14	74	80	-11	-15
ゼルマック/ゼルノーム	過敏性腸症候群	57	62	12	15	16	37	72	78	18	18
ファムビル	抗ウイルス	39	42	11	25	27	-8	64	69	7	3
トップ20製品 計		1,726	1,864	16	2,371	2,561	12	4,097	4,425	19	14
その他製品		168	181	-26	704	760	-5	842	909	-5	-10
医薬品売上高 計		1,894	2,046	11	3,075	3,321	8	4,969	5,367	13	9

四半期分析（監査対象外）

四半期別の主要数値

	2004年第4四半期		2004年第3四半期		増減 %
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	
売上高	7,578	8,184	7,057	521	7
営業利益	1,534	1,657	1,717	-183	-11
金融収益（純額）	66	71	35	31	89
税金	-224	-242	-317	93	-29
当期純利益	1,378	1,488	1,547	-169	-11

地域別の売上高

	2004年第4四半期		2004年第3四半期		増減 %
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	
米国	2,915	3,148	2,881	34	1
欧州	2,734	2,953	2,506	228	9
その他	1,929	2,083	1,670	259	16
合計	7,578	8,184	7,057	521	7

事業部門別の売上高

	2004年第4四半期		2004年第3四半期		増減 %
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	
医薬品	4,969	5,367	4,646	323	7
コンシューマーヘルス	209	2,818	2,411	198	8
サンド（ジェネリック事業）	867	936	722	145	20
一般用医薬品（OTC）	532	575	478	54	11
アニマルヘルス	209	226	194	15	8
医療用栄養食品	285	308	289	-4	-1
乳幼児用栄養食品	354	382	371	-17	-5
チバビジョン	362	391	357	5	1
合計	7,578	8,184	7,057	521	7

事業部門別の営業利益

	2004年第4四半期		2004年第3四半期		増減 %
	百万米ドル	億円	百万米ドル	百万米ドル	
医薬品	1,251	1,351	1,387	-136	-10
コンシューマーヘルス	184	199	278	-94	-34
サンド	22	24	4	18	
一般用医薬品（OTC）	58	63	105	-47	-45
アニマルヘルス	36	39	1	35	
医療用栄養食品	-39	-42	30	-69	
乳幼児用栄養食品	68	73	76	-8	-11
チバビジョン	51	55	67	-16	-24
部門管理費	-12	-13	-5	-7	
法人収益/費用	99	107	52	47	90
合計	1,534	1,657	1,717	-183	-11